

### 児童相談所設置と南千住六丁目永久水利施設の整備状況及びび地域を挙げた訓練の実施を問う



町田 高  
(維新の党)

児童相談所設置を問う  
児童相談所と子ども家庭支援センターの2カ所の児童相談行政があり、児童虐待等の対応をしている。このことによる課題を解決するために、区に児童相談所を移管し、子どもを守る仕組みを作るべき。進捗状況を問う。

特別区長会では、都に児童相談所の早期移管を申し入れ、都区の課長級による議論も再開した。児童相談所の区移管に向けて理解が得られるよう全力を傾ける。  
南千住六丁目永久水利施設の整備状況及び訓練の実施を問う  
南千住六丁目に永久水利施設

を整備することだが、進捗状況を問う。また、完成後はどのように訓練を実施するのか。中学校の防災部も参加する訓練が効果的と考えるかどうか。

南千住の施設では、送水を行う資機材を本年11月に配備し、運用を開始する。訓練では、消防団等と連携し、安全な活動ができるよう実施する。また、中学校防災部の参加を呼びかけるとともに、地域を挙げた訓練を実施していく。その他の質問項目  
県費負担教職員に関する質問

### 防災対策強化と街づくりの推進で尾久地域の活性化を



中島 義夫  
(自民党)

#### 防災対策を問う

東京都は東京オリンピックに間に合うよう、積極的に無電柱化事業に取り組んでいる。区としても荒川遊園通りの無電柱化を進めべきと考えるかどうか。

見解を問う。  
区は、北区と連携し、地下道を経路とする安全な進入方法や敷地内の軌道以外の部分を確認する。段階的に調整を進めている。避難場所の指定については、概ね5年ごとに見直しを行っている。現在、あらかわ遊園宮前公園一帯を避難場所の候補地として、都に要望している。今後もJR東日本との協議を積極的に進めていく。

補助金等の財政支援制度の充実を国に要望するとともに、新たな技術開発の動向を踏まえ、実現の可能性について鋭意検討する。

荒川遊園地前交差点及び熊野前交差点について、斜め横断を可能とするスクランブル方式とする。より一層、歩行者と車両がスムーズに流れるよう東京都や警視

難方法の周知や避難場所の見直し等の検討を行うべきと考えるが、

荒川遊園地前交差点及び熊野前交差点について、斜め横断を可能とするスクランブル方式とする。より一層、歩行者と車両がスムーズに流れるよう東京都や警視

### 日暮里地域の緊急施設改善と都市計画道路92号線の拡幅見直しを問う



小島 和男  
(共産党)

日暮里地域の緊急施設改善を問う  
二日小のトイレは35年間改修されておらず、緊急改修の着手を求める。また、日暮里図書館は外壁と給排水設備の大規模改修が行われていない。実施を求める。

調機を設置を開始し、継続して冷房化に取り組んでいる。都市計画道路92号線の拡幅見直しを問う  
補助92号線は、何回かの計画変更で終点が延伸された。区として、延伸の理由や経緯をどのように把握しているのか問う。

二日小のトイレ改修は、区の改修計画の給排水工事に併せて準備を進めている。日暮里図書館は、同改修計画に基づき改修に向けて検討していく。

東京都に図書等は存在との回答のため、区として延伸理由や経緯を把握できない状況である。第4次東京都都市計画道路整備方針で事業化推進を見直すよう、区が働きかけることを求める。

学校施設の空調機が稼働しなくなつた場合、緊急改修工事により対応している。サービスマン、ポンプの空調施設は、修繕を終えている。今後も空調施設の点検、適切な修繕に努めている。

区は、地元の声を直接伺い、都に対して丁寧な対応をするよう求めた。今後も都へ求めていく。その他の質問項目  
民間の区民施設の長寿命化や建替えについての支援を  
サンパル荒川の長寿命化と区民ホールについて  
学童クラブにこけすくいの充実について

特別教室は、平成14年から空

利用者が必要となる。採算性を運行事業者と十分に協議した上で、未導入エリアにおけるルート整備の可能性についても検討を進めていく。

教育関連について  
環境と健康について

その他の質問項目  
教育関連について  
環境と健康について

### 防災対策と町屋地域の安心安全な街づくりを問う



森本 達夫  
(公明党)

防災対策を問う  
近年、地震以外でも自然災害の猛威は年々拡大している。多様な災害に対応できる改訂版「家庭用防災マニュアル」を策定すべきと考えるが、区の見解を問う。

空き家等の実態調査に着手した。この調査をもとに、空き家対策を総合的に実施するための計画策定作業を進めていく。  
スクラムあらかわ付近は以前から事故が度々起きており、地域の方から信号機を設置してほしいと20年以上も前から強い要望があった。区は、危険な道路の状況の設置等、危険を解消し、安全な道路となるよう対応すべきと考えるかどうか。

区では年一回実動訓練を実施している。しかし、全ての地域で頻年に行えることではない。そこで、DIYやHUG等いわゆる図上訓練を取り入れることを提案するかどうか。

指摘の交差点は、これまでも区議会からの要請や地域からの強い思いを受け、警視庁に対して要望書の提出を行うとともに、信号機の早期設置に向けた環境整備を行っている。しかし、交通量等の理由から未だ実現できていない状況にある。引き続き、道路交通の安全性の確保に繋がる対応を行っていく。

本年7月に第二峡田小学校避難所運営委員会により、HUGを活用して訓練を実施した。今後区は、モデル地域を指定し、実動訓練に加え、DIYやHUG等の図上訓練を取り入れた訓練の導入について、積極的に検討していく。

芸術文化振興事業の取り組みについて  
行政の発信力向上のための「あらかわ区報」について

町屋地域の安心安全な街づくりを問う  
老朽空き家は、大規模な震災の際に倒壊の恐れがあるといった防災上の問題を抱えている。町屋地域の不燃化や防災の意味も込めた空き家対策について、スピード感をもって取り組んで欲しいと考えるが、区の見解を問う。

区は、区内全地域を対象とし

空き家等の実態調査に着手した。この調査をもとに、空き家対策を総合的に実施するための計画策定作業を進めていく。

スクラムあらかわ付近は以前から事故が度々起きており、地域の方から信号機を設置してほしいと20年以上も前から強い要望があった。区は、危険な道路の状況の設置等、危険を解消し、安全な道路となるよう対応すべきと考えるかどうか。

指摘の交差点は、これまでも区議会からの要請や地域からの強い思いを受け、警視庁に対して要望書の提出を行うとともに、信号機の早期設置に向けた環境整備を行っている。しかし、交通量等の理由から未だ実現できていない状況にある。引き続き、道路交通の安全性の確保に繋がる対応を行っていく。

芸術文化振興事業の取り組みについて  
行政の発信力向上のための「あらかわ区報」について



平成27年度荒川区議会定例会・11月会議は11月27日に開かれる予定です。